

授業科目 精神障害作業療法学

【担当教員名】 桐本 光		対象学年	3	対象学科	作業
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	○	◎	◎	
【概要・一般目標：G10】 精神障害のある対象者に対して、その心身機能・身体構造、活動と参加、環境因子、個人因子を考慮した作業療法計画を立案し作業療法を提供するための知識や考え方を修得すること。					
【学習目標・行動目標：SB0】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神障害領域の作業療法の目的・役割・実践課程を説明することができる。 2. 個人作業療法と集団作業療法の形態を列挙し、それぞれの特徴を述べることができる。 3. 代表的な精神疾患・精神障害の特性に応じて、作業療法の目的・過程・実施上の留意点を説明することができる。 4. 精神障害者の社会参加に関わりの深い制度や社会資源について列挙し説明できる。 5. 精神障害者の社会参加における作業療法の役割や具体的な支援方法を説明できる。 6. 精神疾患・精神障害の具体的事例をICFの枠組みで整理し、作業療法目標を考察する。 					
回数	授業計画・学習の主題			SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	授業オリエンテーション、精神障害領域の作業療法に関する基礎知識レビュー			1	講義
2	精神障害領域の作業療法の概要			1, 2	講義
3-10	代表的な精神疾患・精神障害と作業療法			3	講義
11	精神障害者の地域生活と作業療法			4, 5	講義
12-14	ICFを使った事例検討			6	演習
15	まとめ			6	講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		生活を支援する 精神障害作業療法 急性期から地域実践まで	香山明美、小林正義、 鶴見隆彦 編著	医歯薬出版	2007・3,800円＋税
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 出席、受講態度、グループワークによる事例報告書、定期試験			【履修上の留意点】 集中講義形式で行う。		